

ふきた さと 吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 代表/小田忠文 年会費/正会員(個人・団体)1000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1000円、賛助会員10,000円
振込先/00980-3-28845 NPO法人すいた市民環境会議事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目-8-28.705/TEL & FAX 06-6386-9491 中村小夜子
ホームページ <http://www.sutv.zaq.ne.jp/sskk/sskk-top.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/古谷啓伸

ずいおんいけ
水遠池でカヌーに乗って 5頁



メダカの田んぼで今年も **悪戦苦闘** の稲作 8頁



田んぼの入口にたつ看板

環境家計簿で家庭のISO14001 2頁

NPO紹介 とよなか市民環境会議 6頁

新連載 あルック吹田・番外編 14頁

理事会

毎月第3土曜日に市民会館で1時30分から行なっています。理事でない方もお気軽にご参加ください。

環境家計簿でライフスタイルの方針を立てましょう

吹田市が本庁庁舎でのISO14001認証取得をしました。生活環境委員会では、地球環境課と話し合いを重ねてきましたが、9月5日、右頁に示す「『エコ オフィスプラン』と『ISO14001』についての質問・要望書」を提出しました。

「行政や企業とともに考え行動する」をモットーとする私たちは、市に要望するだけでなく、市民である私たち自身のライフスタイルも環境配慮型のものに変えていかなければなりません。そのため生活環境委員会の呼びかけに応じたすいた市民環境会議理事の有志が、7月から「環境マネジメント」(環境家計簿)に取り組んでいます。

「環境マネジメント」は、いわば「家庭のISO14001」です。方針を立て、電気

・ガス・水道の使用量をはじめ、洗剤・ごみ・ガソリンなどの中から削減する対象を選び、電気を使わないときはスイッチを切るなどいくつかのマニュアルを実行し、その使用量を記録し、監査して、また継続するというものです。マニュアルを実行、継続することによって、無駄を省き、環境のみならず家計も救うことになります。また、その体験と成果は、環境配慮型ライフスタイルへの変革を図っていかうとする私たち自身の力になるものです。

男性の会員も取り組んでいますよ。会員の皆さんもチャレンジしてみませんか。ご意見・お問い合わせは生活環境委員会まで。

(生活環境委員・喜田久美子)

今夏、エコスタイルの吹田市役所

7月25日に市は環境に関する国際規格であるISO14001の認証を取得しました(本誌20号に関連記事)。これは、市長が定めた環境方針及び環境目的を含む環境マネジメントシステム(EMS)が審査登録機関より、国際標準化機構(ISO)の定める環境規格(ISO14001)をクリアしているという審査結果を得たものです。

EMSとは、組織のトップが定めた環境方針に沿って環境目的・目標を設定し、これを達成するための計画を定め(plan)、計画通りに行動し(do)、その実績を確認し(check)、見直しを行う(action)ことにより環境負荷を継続的に改善する仕組みです。

市はISO14001の環境方針にも沿って、地球温暖化を防止するためにも職場の適正冷暖房を徹底し省エネルギーを推進しています。この夏、市庁舎では冷房温度を28℃に設定しました。

同時に職員の服装への意識を変え、軽装を広く呼びかけることにしました。制服もしくはノーネクタイ姿に「エコスタイル実行中！」のワッペンをつけて仕事をしました。

実施期間は8月1日から9月30日まで、来庁者にもエコスタイルを呼びかけました。

担当部署 環境部 地球環境課 電話 06-6384-1231(内線2626)

小田会長の感想「担当職員の少ない中、まずは、おめでとうと言いましょ。これが、学校や生涯学習での環境教育に反映されることを期待しています。」(会報委員・古谷)

「エコ オフィスプラン」および「ISO14001」についての質問・要望書

全文はつぎのとおりです（本誌20号に関連記事）。

すいた市民環境会議は昨年（平成12年）2月、吹田市役所の「エコオフィスプラン」について質問・提案いたしましたところ、4月6日付けで回答をいただきました。

その回答および「ISO14001」につき質問・要望いたします。

1. 「エコ オフィスプラン」公表について

「エコ オフィスプラン」第4章（14P）に「（実績を）定期的に市民に公表する」とあります。「エコ オフィスプラン」が実施されて1年と数カ月経過しました。

今年の3月議会では市長と環境部長が平成11年度との比較について述べられています。実績および監査結果を市民に公表する時期だと思われまます。吹田市のホームページや「市報すいた」も充実してきました。特に「市報すいた」は紙数も増え、環境のページもできました。

2. 「ISO14001」の認証取得をされました。認証取得にあたって市長および市職員の努力と意気込みに敬意を表します。

今後「ISO14001」は市庁舎

だけでなく、他の施設・事業所（例えば、下水処理施設・市民病院など）でも認証取得する予定があるのでしょうか。また、「ISO14001」の監査結果の公表時期と方法がはっきりしていません。さらに「ISO14001」と「エコ オフィスプラン」との関係が市民にわかりにくい状況です。これらの点を市民に説明する機会が望まれます。

一方、「ISO14001」認証取得の経過、実施状況などの説明や見学は、市民にとって大変よい環境教育になることと考えます。

そこで「エコ オフィスプラン」と「ISO14001」の認証取得について、以下のことを質問・要望いたします。

「エコ オフィスプラン」について

（要望・提案）

- ・ 「エコ オフィスプラン」の実績および監査結果の公表時期と方法を明示してください。
- ・ エネルギー使用料（電気・ガス・水道使用料）を毎月公表することを再度提案いたします。「市報すいた」の欄外に前年同月比とともに掲載す

れば、温暖化防止への市民への啓発にもなるでしょう。

- ・ 市民との協働の意味を確認するためにも、「エコ オフィスプラン」の監査委員会に市民を参加させ てください。それにより市民の意識も向上するものと考えます。

（質問）

- ・ 監査委員会のメンバーをお知らせください。
- ・ 監査委員会は過去何回開催されましたか。その議事録の閲覧方法を含めご回答ください。

「ISO14001」の認証取得について（質問）

- ・ 今後「ISO14001」を市庁舎以外でも取得する予定はありますか。「エコ オフィスプラン」との関係を含めご回答ください。
- ・ 監査の結果の公表時期と方法をご回答ください。
- ・ 学校や生涯学習での環境教育に利用する計画についてご回答ください。

なおご多忙とは存じますが、平成13年10月初旬までにご回答をお願いいたします。

短信 来春、ヒメボタルサミット in 吹田

第6回ヒメボタルサミットが来春3月10日（日）にメイシアターで開催されます。京阪地区のヒメボタル生息地で組織的な調査をしている団体が集まり、研究と討議をおこない、ヒメボタルの保護に貢献することが目的です。環境会議もサミットの運営に参加します。

街路樹調査中間報告

生き物調査委員会 平(ヒラ) 軍二

歩道に植栽される街路樹は春の花、夏の木陰、秋の紅葉・木の実と、四季折々に“うるおい”と“やすらぎ”をもたらしてくれるが、生き物調査委員会では吹田市の委託を受け「街路樹調査」を実施中である。

1. 吹田市内の街路樹状況

先ず予備調査により吹田市内で街路樹のある道路を確認したあと、現在、地域毎に調査担当者・担当チームを編成し本調査を実施中である。これまでわかった地域別概況は以下の通りである。

- ①だれもが予想する通り、千里ニュータウンの道路に街路樹が多く、旧市内では少ない。しかし、千里ニュータウンでも桃山台には殆ど街路樹が無い。
- ②旧市内で街路樹のある道路は、殆どが幹線道路である。
- ③五月が丘・佐井寺地区などのように街全体が再開発された所は街路樹が多く、またJR吹田駅前など再開発により新しく作られた道路は街路樹が植栽されている。

2. 街路樹に利用されている樹木

「千里けやき通り」・「千里ぎんなん通り」・「千里さくら通り」が愛称として命名されたように、街路樹が道路のシンボルとなっている。街路樹に利用されている樹木としてケヤキ・イチョウ・サクラが多く、クスノキ・ナンキンハゼ・トウカエデも良く利用され、ハナミズキ・ユリノキ・サルスベリなど花の美しい樹木、イチイ・オリーブなど珍しい樹木も植栽されている。また、高木の根元に植栽される低木としては、アベリア・ヒラドツツジが多かった。これら高木・低木を合わせた樹木の種数は、50種を越えるものと予想される。

3. 街路樹の効果(日向と日陰の気温)

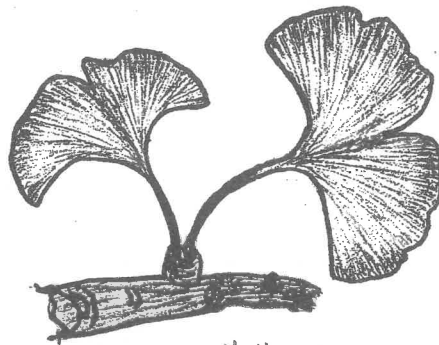
今年の猛暑は横断歩道で信号を待つ時などに、街路樹の木陰の効用を実感した人も多かったと思われる。日向・日陰の気温を比較測定した結果、地上1m高さの日陰気温は日向より3℃ほど低くなること、一方、日向の地表温度は+20℃以上高く50℃を越えることが確認され、街路樹の木陰効果を証明するデータが得られた。(測定:顧問の加藤さん)

4. 今後の予定

現地調査は9月中旬に終え、先のアンケート結果を含めた調査結果を集約するとともに、紅葉の効用などの追加調査を加え、02年3月までに街路樹マップと調査報告書を完成する予定である。

尚、前号に同封した「街路樹アンケート」を、まだ記入されていない方は街路樹に対する思いを記入の上、生き物調査委員会までお送り下さい。

(01.8.31)



これからの黄葉が楽しい
イチョウ。

カヌーに乗って、トンボの羽化を見よう

橋口健一（青山台）

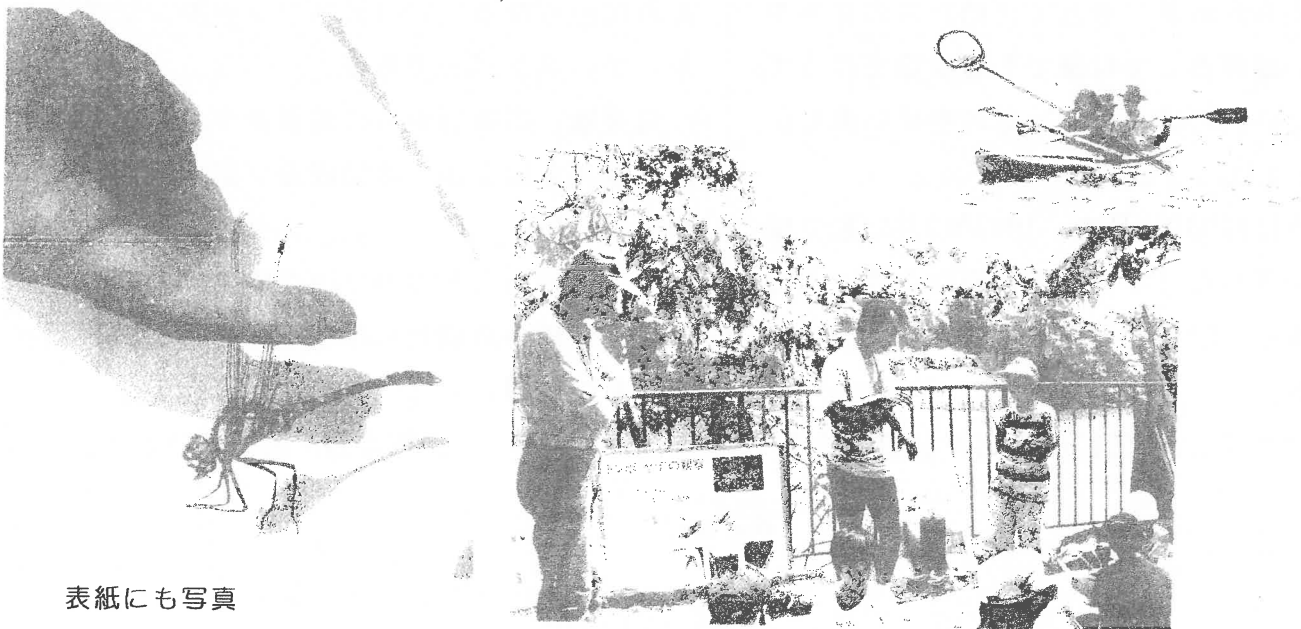
7月1日（日）に北千里公園の^{ずいもんいけ}水遠池に約30人が集合しました。私は小学1年の娘と友達親子を誘って7時半に出かけていきました。北千里公民館の館長さんや「トンボ博士」と自他ともに認める小室さんから事前説明と注意事項を聞き、いざカヌーに乗り込みました。私はカヌーに乗るのは初めてです。ボートを漕いだことはありますが、カヌーのオールは使い勝手が異なりなかなか思うように進めません。娘の心配そうな顔をよそに格闘していると次第に慣れてきてスピードが上がりレース気分？になりました。

「お父さん、早くヤゴを見つけに行こう!!」
「そうだ。今日はトンボの羽化の観察会だった」。すっかり我を忘れていました。娘の友達親子は既にヤゴのヌケガラを発見していました。ヨシをかき分け、茎にとまるヤゴを求めて暫し探索しましたが、残念ながらトンボの羽化の様子は観察できませんでした。しかし、何体かヌケガラを見つけ

ることができました。もう少し、早い時間でないと羽化は観察できないのかも知れません。

カヌーを降りてからは小室さんを中心に勉強会です。小室さんから捕獲したトンボについて詳しく説明していただきました。子供たちと一緒にいろんなトンボを教わりました。「困った顔のオオヤマ君ことオオヤマトンボ（正面から見ると本当にオモロイ顔）」「シッコが切れているように見えるコシアキトンボ」などなど。その他オスとメスの見分け方も教えてもらいトンボに親しみが湧いてきました。

カヌーは毎月池のゴミ拾いをされている地元のカヌーのボランティアの方達の協力を得て乗せていただきました。水辺の美化活動と自然観察。皆さんに感謝するとともに自然や生態を守っていこうという思いを新たにしました。これからも観察会に参加して昆虫や生物などの生態を自分の目で確かめてみようと思います。



表紙にも写真

同じ思い、望みを持つ仲間がいます。

豊中の市内で、ときどき「とよなか市民環境会議」と書かれたポスターを目にする。「すいた市民環境会議」のメンバーである私は、「市名」違いのこの文字に必ず反応し、立ち止まってしみじみ眺めてしまう。

誰が関わってはんのやろ？ どんなことやってはんのかしら？ と。

さいわい、友人のひとりが「私入ってるよ！」と名のってくれたので、早速資料を見せてもらった。

市民・事業者・行政のパートナーシップ組織で、会長は豊中市長、事務局は市役所が担当し、書類作成や申請事務などに当たる。活動自体は市民・事業者が中心となり、「私たちの好きな豊中の環境をよくしよう」と、共に取り組んでいる。

NPOのなかまの紹介をしようというこの企画記事としては「ちょっと違うぞ」というところだが、活動内容は同じようなところがかなりあることが分かった。

会報『吹田の郷』創刊号で小田会長が、「施策の計画段階で、市民と行政、そして事業体も含め話しあって、私たちの住みやすい、故郷として自慢できる吹田を作っていきたい」と書かれていたのを思い出し、「いっしょ！」と…

発足は1996年5月で、1997年3月に設立総会を開催した「すいた市民環境会議」とは、いわゆる”学年で言うたらいっしょ”のスタート。

豊中アジェンダ21*の策定が目的で始ま

り、現在はその推進のため活動している。

「自然(ビオトープ)部会」でタンポポ調査、ビオトープ作り、「生活(エコライフ)部会」でマイバッグ運動(買物袋持参の運動)、エコライフカレンダーづくり、「産業(エコインダストリー)部会」でエコオフィス活動チェック、グリーン購入講演会開催、「交通(エコトライフック)部会」でストップアイドリンク運動など。

*アジェンダ21 (agenda) :

環境と開発について21世紀に向けての行動計画で、1992年にリオデジャネイロでの地球サミットで策定した。

2000年度から環境会議の企画で「とよなか市民環境展」を開催し、3年目の発行になる『エコライフカレンダー』では省エネゴミ減量、節水、エコドライブなど暮らしの中で環境活動を呼びかけ、引き続き2002年度版も発行する。

会報は3ヶ月に1回、市民が作成する。すっきりとまとまって充実した内容だ。

これらのことをこなすのは155の事業者と市民からなる130~150名のワーキンググループのメンバーである。

資金は、事業者からの協賛金や、みどりのトラスト協会からの助成金で賄い、会費制度はない。

「市民の方たちのパワーがすごいです」との事務局の市職員のひとは、心底からのものに聞こえた。

(会報委員・岩溪恭子)

関大・千里山をあるく

まちなみ委員・秋山こずえ

「あलック吹田」を片手に“関大・千里山コース”を歩いた。阪急関大前集合、関西大学構内の建造物の説明を聞きながら、吹田で最大の幹周り 1223cm のクスノキ（株立ち9本）に会いに行った。このクスノキは4年前に行った『すいた市民環境会議・大木調査』のときに吹田市最大の幹周りをもつ木と認定、その後、吹田市が保護樹木制度を発足させ大切に守られることになったものだ。

関大構内には、吹田市全域で大木と認定した420本のうち47本がある。ちなみに1本の木で最大の幹周り（445cm）をもつクスノキも関大正門前にある。

関大構内をあとに、千里山の“まちなみ”を歩きながら街路樹の少ないのが気になった。道幅の狭さゆえか、昔は桜並木が・・・などの話をよく聞くが、この街のもつ雰囲気には街路樹が合うだろうな、など勝手に思いながら千二小学校にたどり着く。

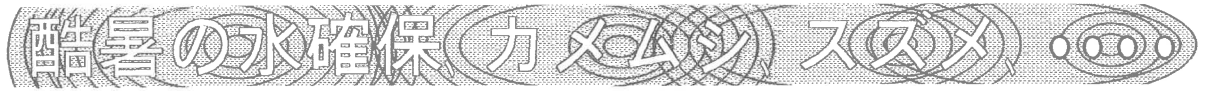
千二小学校は、吹田市の小学校の中で唯一木造校舎が残っている。校舎内の見学後、参加者の感想を聞いた。

風がとおりぬけ涼しい。木造のきしむ音、ツルツルの手すりなど懐かしい。木造校舎で学んだことの無い世代からは、「どこへ行っても鉄筋コンクリートの中、木で建てた建築物が、こんなに心をやさしくしてくれるとは、とても新鮮。」

私たちの世代には、懐かしくて、心がやさしくなれる木造校舎。今の世代には心を癒し、新鮮な感性の木造校舎・・・今この建物を活用する市民と行政の話し合いがなされてるが、“良い物にして欲しい”の願いと心を残しながら千里山キリスト教会をたずねた。

千里山のまちなみは、英国の田園都市レッチウオースをモデルに噴水を中心に6本の道路が放射状に並ぶ街を創りあげた。といわれるが道幅が狭く、車が多く、横断もゆっくりできない状態である。千里山キリスト教会の尖塔、和洋折衷の木造建築など、吹田市では特異な文化をもつこの地域を見直す時期がきていると思いながらの散策でした。





今年も収穫はいかほどに

橋本英樹（円山町）

紫金山「メダカの田んぼ」は、2度目の夏を体験しました。昨年同様、雨の少ない猛暑となり、水の確保が厳しい夏となりました。

スイタクワイのできればえについては、「吹田の郷20号」（2000年1月号）をお読みいただくか、あるいは、下記のホームページを見ていただくとして、今回は取り組みにあたっての苦労話＝やりがいや、活動を通して思ったことなどを書きたいと思います。

苦労と言えば、やはり最初に書きました夏シーズンの水の確保が最大のテーマです。そして、一息つく間もなくやって来るスズメやカメムシへの対策です。

田んぼだけではなく、その水瓶ともなっている溜め池ゾーンへの導水はとても神経を使います。というのは、すぐそばを水路が流れていて、いつでも水門を開けられるとか水道の蛇口をひねればよいというわけにはいきません。水の状況について、熱心なメンバーがメーリングリスト（インターネットメールを使った電子会議室）でディスカッションしあい、それをもとに、市役所の担当者へ連絡を入れます。そして、地主さんが管理されている亥の子谷にある溜め池の鍵を預かって、市役所の方と溜め池の水門を開けます。そして、約30分後には田んぼや溜め池に満々と水が溜められることになります。

田植え前にもこのような光景が実現し、「さあ、いよいよ田植えかあ！」とながめます。でも、あらかじめ予定していること

なので、のんびりした気分です。でも、夏の渇水時にはまず水をいつ入れるかというタイミングを、水の残量と天気予報に基づいて決定しなければなりません。市役所の方や地主さん、そして立ち会う私たちのメンバーの都合もありますので、気軽に何度も導水するわけには行きません。そういう訳で「いつ水をいれるのか？」ということは、夏の苦しい決め事です。

幸いなことに、私たちすいた市民環境会議の活動については、市役所の多大な協力をいただき、また、担当者の業務を離れたボランティア的なご対応もあって、土日にも導水をしていただいているのですが、今年は休日が参議院投票日とぶつかってしまいました。平日に都合がつくメンバーの立ち会いにより、なんとか渇水を免れたのでした。もう少しでメダカなどの生き物が干上がるころでした。その後は台風がやって来たり、ほどよい慈雨に恵まれたりして、どうにか渇水のピークを越えたかなとほっとしています。

しかしながら、その^{あんど}安堵もつかの間のことで、8月下旬からスズメやカメムシによる被害が始まりました。こちらも、「いつ防鳥ネットをかけるか」というタイミングがあり、定例作業日での実施では手後れになります。やはりメーリングリストによる連携プレーによって分担しながら、かつ自主的に進めました。ただしカメムシによる被害はネットでは防止できません。もっと違う対策を立てないといけないと考えてい

ます。昨年はスズメやカメムシによる被害が甚大で、ほんの少ししか収穫できませんでしたので、誰もが今年は豊作を願っています。でも状況は昨年同様、厳しいと予想されます。

作物については、今年はスイタクワイの作付け面積を増やしています。米の刈り取り・脱穀・もちつき大会などの一連の行事が終わったあたりで、スイタクワイの収穫を行ないます。

このように、作物の収穫に大半のエネルギーを注ぎ、自然復元活動や生物調査のほうには十分取り組めていないのが残念ではあります。しかしながら、いわゆる自然植物園やビオトープを維持運営するのではなく、「米の収穫」という活動を通して環境会議ならではの活動成果が得られれば幸いかと思います。

運営についても、本当に「日本人の活動性向、例えば、企業などの組織でも、地域活動でも、米作りで培われて来たんだな」と実感しています。つまり「和を重んじ特異な行動は控える」「強力なリーダーシップよりも合議性を重んじる」「戦略思考とか斬新な発想というより、豊富な経験が重要視される」など、よく言われる日本人の特質を身を持って体感します。加えて、従来の体験・経験ではありえな

い事が起きた場合の日本人の弱さみたいなのところも、極めて明確に自覚できます。何冊もの「日本人論」「組織論」を読むより学習効果は高いと言えますね。

以上、運営の苦労話を中心に書きましたが、やはり”楽しい”がベースにあります。地元でこのように米作りに連続して関わると言うのは、本当に幸運なことです。また、少しずつ体験を積み重ねていけば、まだまだやりたいことをやれる余地はありません。

ぜひみなさんもお参加ください。まず、とりあえずは「がんばれよ」と声をかけに遊びに来ていただければ大変嬉しいです。

<年末までの作業予定>

それぞれ作業時間は9時30分から正午です。

10月14日（第2日曜）

稲刈り、おだ掛け、観察会

10月28日（第4日曜）

脱穀、籾摺り、クワイゾーン水抜き

11月11日（第2日曜）（活動予定なし）

11月25日（第4日曜）クワイ掘り

12月 9日（第2日曜）

餅つき大会、クワイ料理



昨年の稲刈りの光景

表紙にも写真

詳しくはインターネットで、または事務局までお問い合わせください。

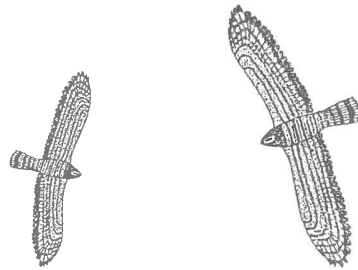
ビオトープ委員会のページ http://www.sutv.zaq.ne.jp/sskk/1_biot.htm

《 吹田市の鳥 NO.20 》

サシバ (差羽)

タカ科

平(ヒラ) 軍二 (山田西)



晴れた日の穏やかな空にぼっかり浮かぶ白い雲、万博公園の芝生に寝ころんで空を眺めていると、白い雲の中の黒い点が輪を描きながらけし粒のようにだんだん小さくなり、そのうち西の方向に流れていく。秋の渡り鳥のハイライトと言えるタカ、サシバの渡りである。

サシバは4月頃、夏鳥として北海道を除く日本各地の平野部～山地、いわゆる里山に渡来しヘビ・カエル・トカゲ、そしてバッタなどの小動物を餌に子育てを行った後、9月下旬～10月中旬に南国に戻っていく、カラスほどの大きさのタカである。

愛知県伊良湖岬でのサシバを中心とするタカ渡りは、江戸時代から知られていて、芭蕉のうたった句が有名である。

「鷹一つ見つけてうれしいらご崎」 芭蕉

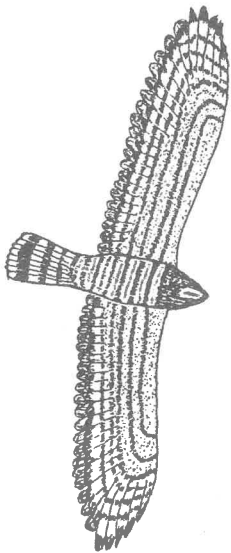
小鳥たちが夜に移動するのに対し、タカの仲間は昼に移動するので、渡りを自分の目で確認し実感できる楽しみがある。タカは山と山の谷間など上昇気流の発生する所で、

- ①輪を描いて上昇し高度を稼ぎ
- ②グライダーのように羽を広げて滑翔し距離を稼いで
- ③次の上昇気流が発生する所まで移動する

ことを繰り返して渡る。

タカは晴天で風の強くない上昇気流の発生しやすい日に飛ぶなど気象条件が影響するものの、飛ぶコースがほぼ一定していて大阪では南北にタカの渡るコースがある。

南コースは伊良湖岬からのメインコースであるのに対し、北コースは20年ほど前に判明した新しいルートで、高槻→箕面にかけての北摂山麓がコースとなっている。



この北コースを通過するサシバなどタカの仲間は、

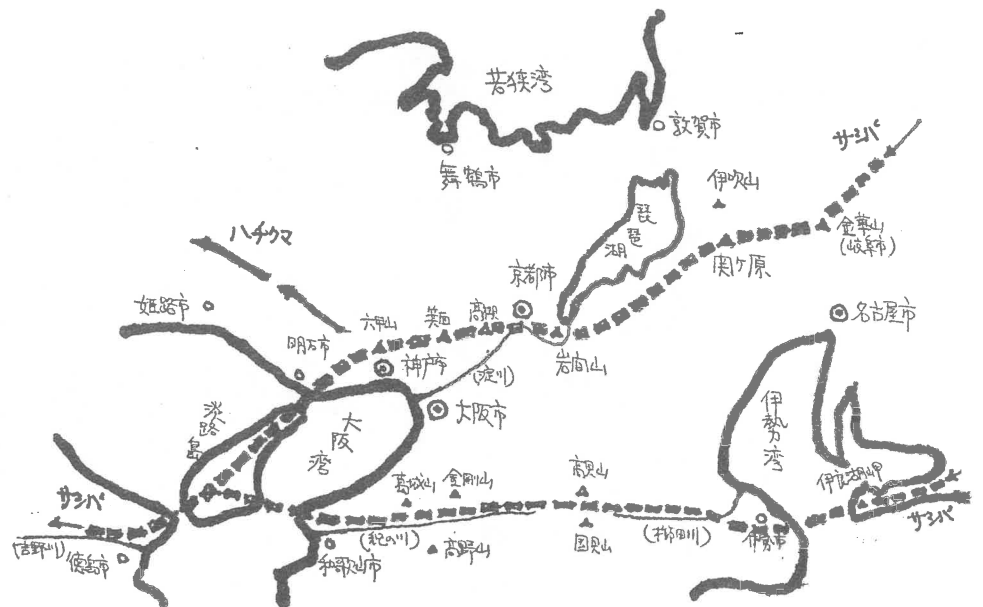
多い日 1千羽以上
1シーズン 1万羽以上

(9月下旬～10月中旬)

である。

タカ渡りの観察最適地は箕面公園(阪急箕面駅北東1 Km程の聖天展望台)であるが、北コースのサシバが風に流され、吹田市上空を飛ぶことがあり観察できる。

(01.8.26)



大阪周辺のタカ渡りコース図

有馬富士公園は楽しいところ・一度はいこうよ

小田信子（内本町）

夏休み最後の日、今年4月に完成したばかりの兵庫県立の有馬富士公園の見学に同行しました。案内してくださったのは、何と贅沢なことに人と自然の博物館・主任研究員の「戸田耿介」さん。主に見学したのは、400haの自然公園の中に三田市が造った自然学習センターです。

この学習センターには展示スペースがあり、いくつかの貸し室や工作室があります。

その屋上は、床が木で作られていて、テーブルと長椅子も木製、ここならお弁当もおいしく食べられそうです。広々としていて見晴らしもよく、有馬富士が目の前にあり、気持ちのいいスペースでした。

展示スペースは常設ではなく「可変展示」といい、季節などに応じて展示を替えていくもので、年4回替えるそうです。そのための方々に細かな工夫がしてありました。また、展示物などはさわってみるのが基本で、子どもたちが楽しんで興味を持つよう、隠してある物を探し出すような工夫が面白いものです。私は、三田で棲息しているホタルの標本を見つけました。つい何十年前

の童心に返って遊んでしまいました。指導員が20才代の若い人というのもいいことです。

また、この学習センターの特色は「運営は市民が」というものです。常設している水槽の管理と木工教室をNPOに委託し、公園内にある棚田も市民が維持しているそうです。ユニークなのは「夢プログラム」で、公園を利用して行事をしたい団体を登録し、「有馬富士公園運営・計画協議会」が支援するもので、基本姿勢は「市民がホスト」です。でもまだ、市民は「行政にしてもらおう」のに慣れていて「…してほしい。…してくれないの？」ということがあるそうです。さて、吹田市民ならどうでしょうか。

ぜひ、もう一度ゆっくり訪れたいところです。皆さん一緒にいかがですか？ 来年にでも学習研修会から企画してもらいましょう。この日はオマケとして青野ダムの魚道の見学もありました。川を遡上する魚をガラス越しに見ることができるのです。この話は、また次の機会にします。



山田旧集落の課題

平軍二（山田西）

会報22号に掲載された環境フェアクイズの都市景観賞の「山田旧集落」のコメントについてですが、「山田旧集落の良さが理解されていない」と言うよりは「山田旧集落を知らない」ということが、本当ではないでしょうか。何れにしても、都市景観行政に課題（問題）だと思いたすが。

みんなで語ろう ニュータウンの今昔・環境の変化

北千里公民館連続環境講座

学習・研修委員会 草野弘靖

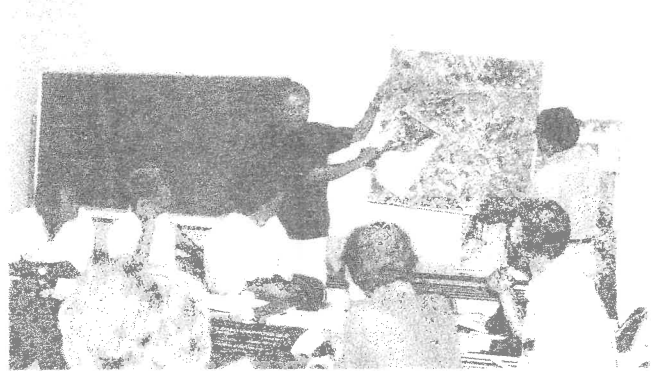
8月12日(日)に千里の歴史に詳しい、山野さん(山田東)、浦田さん(山田東)、竹内さん(藤白台)に来ていただき、お話を聞きながら楽しいひとときを過ごしました。

参加者は14名、皆さんとても興味を持ちながら話を聞いたり意見の発表をされていました。また、三崎館長が昔の千里の地図などの資料を用意され、地図を見ながら話を聞くことができたのがよかったです。

- ・吹田市と箕面市の境(国立循環器病センターの前から今宮に抜ける道の市界)には大きな赤松があり、そこには峠の茶屋があった。また、その付近では松茸取りができた。
- ・小学校では、毎年ウサギ狩りを行事で行っていた。(場所は今の千里北公園あたり?)
- ・千里にはため池が多くあり、それが丘の上にもあった。
- ・山田川にはたくさんの魚がいて、それを釣って食べたりしていた。
- ・セミはアブラゼミがほとんどだった。(現在はクマゼミが多い)
- ・北千里周辺にもホテルがとんでいた。
- ・以前は雪が多く積もり、スキーができた。

その他、昔の土地の様子や学校のことなど、たくさんのお話が出てきました。

最後に、自分のすんでいる街を愛し、行動を起こしていくことが街の環境をよくしていく・・・などの意見が出て、今回の講座が終わりました。



守ろう！ 山田旧集落の景観

— 山田東地区市民とまちなみ委員会が交流会を持ち、意気投合 —

まちなみ委員・岡村昇二

山一地区公民館長・内山実嗣氏以下11名の山田東地区の自治会役員等とまちなみ委員9名が、7月7日(土)に交流会を開き、景観保全について語り合いました。

「あるック吹田-観光マップ」作成のため、昨年山田旧集落を歩き、その素晴らしさを再認識した私たちと、一方市の都市景観特別賞を受けた山田側の人たちとの話し合いはなごやかな内にお互い意義を感じるものでした。

私たちの側から、山田の景観は市民が安らぎを

覚え、山田にとっても地区のグレードを高めるものであることを述べました。山田側から、まちを誇りに思っているが、維持管理の負担が大変なことが語られ、補助金の要望が出されました。さらに、これまで個人で家を守ってきたが、今回の話し合いから、今後自治会として取り組まなければとの意志が示されました。

なお、山田旧集落の有志の方々が今年3月に『山田郷土史・山田のあゆみ』(A4、162頁)を発行し、内山実嗣氏は編集委員長を務めました。

北千里公民館講座をふりかえって

秋山こずえ（環境講座担当）

北千里公民館とすいた市民環境会議が協同で連続環境講座を行うようになって2年になります。今年の講座内容はつぎのとおりでした。

5月 「黄色い花調べ」

環境省が毎年行っている“身近な生き物調査”に連動させ、青山公園をフィールドに春の植物調査を参加者全員で行い、環境省ヘデーターを送りました。春は黄色の花が多いことを知りました。（本誌22号に掲載）

6月 「もののけ姫と古代製鉄」

宮崎駿さんの「もののけ姫」から「たたら」にヒントをいただき古代製鉄と近代製鉄に話が進んでいきました。この講座を聞いて山陰・菅谷の「たたら場」を見学に行った方がいます。

7月 「カヌーに乗ってトンボの羽化を見よう」（5頁に掲載）

8月 「皆で語ろう/ニュータウンの今昔・環境の変化」（左頁に掲載）

9月 「ごみについて皆で考えよう」

2010年のくるくる市の市民になりきって、家庭ごみの有料化について参加者が有料化賛成の市民の立場、有料化反対の市民の立場、行政の立場、事業者の立場などの役で議論をしました（ロールプレー）。

- ・このような難しい問題を、楽しくゲーム感覚で語れた。
- ・おもしろかた。

の感想をいただきました。

ここの公民館は男性の参加が多い地域です。「この環境講座に出るようになってから車は止めて歩いてくるようになったよ。」との一言にとっても嬉しくなっていました。今後もみんなの心に響く講座をと願っています。北千里公民館連続環境講座は館の改装工事のため9月の講座を持って終了です。ありがとうございました。

水辺に生えるヨシとアシ

メダカの田んぼにヨシの一群が茂っている。

アシ（葦、菼、蘆、芦）と言ったりヨシ（葦、蘆）と言ったりするが、一説によると長く伸びて広い用途のあるものをヨシ（善し）、短くて用途のないものをアシ（悪し）というそうだ。別の説ではアシは「悪し」で縁起が悪いから、「善し」のヨシに変わったそうな。呼び名が違って中身は同じである。

植物図鑑事典（地人書館）は、「ヨシは大阪府を代表する花（府花）で、古くは『芦（あし）が

散る』などと、大阪のまくらことばとして使われた。今では大阪は経済都市の中心となり、アシはおあし（お金）と変わった。いつの世にも大阪と、アシはつきものである。」と記載する。

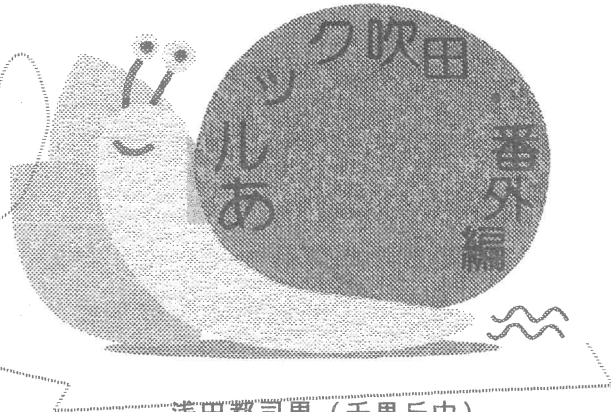
ヨシに酷似した水辺の植物にツルヨシがある。生態的に違いがあって、ツルヨシは流水のあるような河原に生える。一方、ヨシは流れの緩やかな場所や停滞水のある場所に生える。田んぼなどに生えるのはヨシである。

（最近の紫金山会議室から抜粋）

私の好きなスポット

1

雑木に包まれた千里丘地区の「市みどりのネットワーク道」



浅田都司男（千里丘中）



全長約0.7km、道幅2~3mの細長い散策路で夕方の犬連れの散歩客以外にあまり人も通らない静かな別世界。コースの半分は大手企業の用地に挟まれ、残り半分は道路公団用地と民有地などに挟まれています。緑の木の間がくれに万博エキスポタワーが見え、雑木林越しに団地の給水塔が見えるなど、捨て難い景観で、いつまでこの心とむ散策路が保持できるか気がかりです。

かつては名神高速道路西側の檜切山地区（現在は100%住宅地）と連なり、ひとつの山地を形成していたものと思われ、地区住民の話では昔は大阪方面から行楽のシー

ズンに弁当持参でこの辺りに花見やピクニックに来たといひます。

もよりの交通 JR千里丘駅、バス停留所下山田（同一名で付近に3ヶ所）

寄り道スポット（会報委員・古谷啓伸）

投出し墓（摂津市千里丘2-14の北東角）

北側の東西の道は亀岡街道で、現在は摂津市との市界です。この坪井墓地霊園は投出し墓と言われました。夜、亡霊が墓地から亀岡街道に足を投げ出し、それにつまずいて倒れた人は必ず死ぬという伝説が信じられたほどさびしい所でした。

死屍谷（長野東と千里丘下の境界）

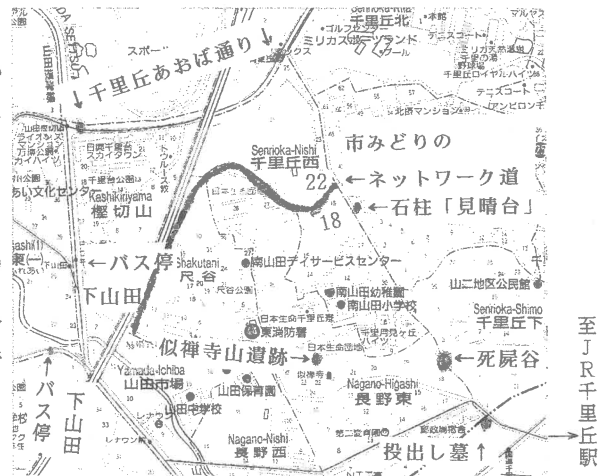
石山合戦で信長に殺された勝久寺（摂津市千里丘東3-4）の門徒の死骸がここに山積みされたので、死屍谷とよばれました。勝久寺のある小坪井の墓地が谷の東側の丘の上であり、墓地に多数の死体を運び上げることが面倒なため谷で処分しました。

この千里丘中央線は南山田小学校校門（千里丘西10）から下って五叉路までほとんどが沼地と水路でした。谷底を埋め立てて1971年（昭和46）に道路が完成しました。

石柱「見晴台」（千里丘中45の南角）

石柱は見晴台を示す標識です。1960年（昭和35）頃にこのあたりを開発した会社が建てたようです。石柱から東へ入って一番高いところが見晴台で、かつては遠く大阪城まで見渡せました。今は民家（3番地15）が視界を遮ぎります。

（→右頁下へ）



あろく吹田の散歩シリーズ

佐井寺コース 10月13日(土)9:30～正午頃

阪急南千里改札前に集合 解散は千里山駅

鎌倉時代に山岳仏教の地でもあった佐井寺地域は市内でも特有の家並みが残っています。

北千里コース 11月10日(土)9:30

～正午頃

阪急北千里駅改札前

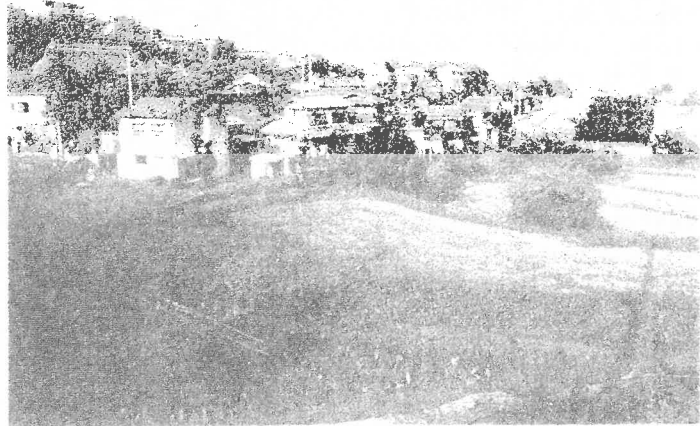
解散も同駅

いずれも小雨決行。

参加費 会員400円、非会員500円

連絡先 松岡 TEL & FAX

06-6384-8168



佐井寺の棚田

スポットの募集

「私の好きなスポット・あろく吹田・番外編」

を浅田都司男さんの執筆でシリーズ物として今月号から連載を始めました。あろく吹田に取り上げられなかったスポットで推薦できるところを下記まで知らせていただくようお願いします。

古谷 啓伸 郵便番号564-0001 大阪府吹田市岸部北5-9-4

TEL & FAX 06-6387-2139 電子メール: furuyahi@gold.ocn.ne.jp

(左頁から) 宅地化によってこの付近に電気がついたのは1954年(昭和29)、電話は1957年でした。

戦前まで現在の摂津市の住民は「山行き」と称して、毎年4月18日(ほぼ旧暦3月3日)に重箱を携えてこのあたりに野遊びに来ました。淀川沿いの人たちには山行きはとくに楽しみでした。ツツジの花が咲いていたそうで、時期から推測してコバノミツバツツジです。戦後はこの一帯を日本生命が買い占めて立入禁止になり、山行きが途絶えました。

千里丘あおば通り

道路の愛称づくりで命名されました。青葉丘のあお、清水のあお、新緑のあおばをイメージできる名前です。モノレール宇野辺駅前から名神高速道路の西300mの交差点までの1.8kmです。

似禅寺山遺跡(長野東22)

似禅寺の裏山で7世紀のものと思われる陶棺、奈良時代(8世紀)のものと思われる瓶、江戸時代～現代の墓が確認されました。断続的に墓地として利用されていた場所です。

似禅寺は、山田下の田中作内が出家して1649年に創った似禅庵が始まりです。

2001年度 会費納入者

2001年6月1日～2001年8月31日入金者（敬称略）

正会員（新入、個人・団体） 松山幸広、宮本好彦

正会員（継続、個人・団体） 鈴木たつ江、秋山芳江、阪口靖子、岡部佐内（～02）、西川整子、播磨真津代、仲埜ひろ、西川哲成、山出光文、高桑常子（～02）、平軍二（～02）、田沢修一、村住和子、後藤寿満子、塩川哲雄、大澤浩子、熊野節子、熊野三千代、天野正子（～03）

正会員（継続、法人） 近畿シビルコンサルタント 吹田市医師会

購読会員（新入） 武藤正治、小出永子、濱口和子、森岡寛光、杉林百合子、佐伯千賀子、前田敦史、八田佳子、匿名（～02）

購読会員（継続） 村住正孝、村住正行、辻千代子、長崎尚子、仲直樹、木原治子、大塚光二、山口克也、平田敏、石原真弓、後藤治人、小田定子（～02）、鈴木節子、川合悠子、柴原恵、古屋美千代、生駒敏子、榎原貞子（～02）

8月31日現在の会員数 正会員(個人)123人 正会員(団体)0人 正会員(法人)8社
購読会員135人 賛助会員0人

★ 封筒の宛先ラベルの下段に入金済みの年度を記入していますのでご確認ください。（～02）は2002年度分まで入金済みです。

★ 今年度会費未納の方は至急入金してください。

★ 会員の種類、会費金額、郵便振込先は表紙の題字下に掲載しています。

★ 会費についてのお問合わせ、会員の種類変更などは、

会計（喜田 TEL 06-6330-0305＝夜のみ FAX 06-6330-0376＝終日受信）まで。

ご寄付をいただいた方々（2001年4月1日～8月31日）

伊藤勝子さん(20,000円)、土志田新八さん、出原正道さん、加藤俊二さん、平軍二さん、匿名希望(10,000円)

事務局からお願い

☆事務所を貸していただけませんか。

市民環境会議の活動が活発になり、成果も得られるようになりました。活動の資料なども多くなり、保管に困っています。また事務局の所在地も個人の自宅になっています。今後の運営のためには、会の事務所が必要な段階と考えています。どなたか事務所をお貸しいただけませんか。

駅に近く、駐車場があれば最高ですが…ぜひたくは言いません。

Tel & Fax 06-6319-0630

または、e-mail k-kaigi@clubaa.com までご連絡をお待ちしています。

☆ご寄付のお願い

会員のみなさまの会費、一部の会員から寄付、企業からの助成金、吹田市からの事業委託金などで活動していますが、会の維持運営のためにはより幅広い会員の皆様のご支援が必要です。皆様の寄付をお願いします。

一口 1000円 です。

送金先 郵便振替 口座番号 00980-3-28845 すいた市民環境会議

事務局の窓口が変更になりました。

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-28、705

TEL & FAX 06-6386-9491 中村小夜子

本号は10月10日までに配達を完了する予定です。遅配された場合は古谷(☎06-6387-2139)まで連絡をいただくようお願いいたします。前号22号(吹田のキツネを掲載)が届いてない方も連絡をお願いします。

編集後記

吹田市のホームページに掲載される市内のNPOは認証済みと申請中を合わせて19団体ある。福祉以外を活動目的とする団体は7である。前号から他のNPOを紹介しているが、失礼な間違いにならないように気をを使う。（古谷）